

日大藤沢同窓会報

第38号

日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校同窓会
事務局：〒252-0885
藤沢市亀井野1866
TEL. 0466-81-0123
FAX. 0466-83-2161
発行責任者 市川 和広
編集 会報作成委員会

児童生徒を第一に考える 同窓会をつくりまします

同窓会会長 市川 和広



長年、日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校の児童生徒を一人でも多く輩出できるような環境を整えたいと考えています。私たちが同窓会役員一同、先生方として

長年、日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校の児童生徒を一人でも多く輩出できるような環境を整えたいと考えています。私たちが同窓会役員一同、先生方として

長年、日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校の児童生徒を一人でも多く輩出できるような環境を整えたいと考えています。私たちが同窓会役員一同、先生方として

長年、日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校の児童生徒を一人でも多く輩出できるような環境を整えたいと考えています。私たちが同窓会役員一同、先生方として

長年、日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校の児童生徒を一人でも多く輩出できるような環境を整えたいと考えています。私たちが同窓会役員一同、先生方として

卒業生への感謝と 在校生からの感動

校長 渡辺 博



楠本文雄前校長の後を受け、今年度より日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校の校長に就任しました。渡辺博と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。私は日本大学理工学部数

学科を卒業し、同学科で1年間副手を務めた後、1986年に日本大学藤沢高等学校に数学科の教諭として着任して、本年度39年目を迎えました。この間、同窓会の皆様方から、多大なご支援・ご協力をお願いしてきました。ことに心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

学科を卒業し、同学科で1年間副手を務めた後、1986年に日本大学藤沢高等学校に数学科の教諭として着任して、本年度39年目を迎えました。この間、同窓会の皆様方から、多大なご支援・ご協力をお願いしてきました。ことに心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

学科を卒業し、同学科で1年間副手を務めた後、1986年に日本大学藤沢高等学校に数学科の教諭として着任して、本年度39年目を迎えました。この間、同窓会の皆様方から、多大なご支援・ご協力をお願いしてきました。ことに心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

学科を卒業し、同学科で1年間副手を務めた後、1986年に日本大学藤沢高等学校に数学科の教諭として着任して、本年度39年目を迎えました。この間、同窓会の皆様方から、多大なご支援・ご協力をお願いしてきました。ことに心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

パリ2024オリンピック

平井瑞希選手

競泳

女子100mバタフライ／女子4×100mメドレーリレー
混合4×100mメドレーリレー

出場!!

令和6年度 全国高等学校総合体育大会（インターハイ）

ウエイトリフティング部男子総合3連覇!!

2面

2面

2025年度同窓会 総会・懇親会のご案内

定例総会と懇親会を、生物資源科学部NUBSホール（予定）において開催いたします※。
総会の案内状がお手元に届かない場合があるかと思いますが、同級生およびクラブ活動等の卒業生をお誘い合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

■ 日時 2025年5月下旬（予定）※
■ 場所 総会・懇親会
日本大学生物資源科学部NUBSホール
または、本館棟 地下1階食堂（予定）※

※開催日時及び開催場所につきましては決まりましたら、下記ホームページにてお知らせいたします。予めご了承ください。

お知らせ

同期会、クラス会など実施の際、通信費などの補助金が出ますので事務局までご一報ください。
※開催の日時、場所、出席者人数、領収書などが必要です。

●ホームページ <https://www.fujisawa.hs.nihon-u.ac.jp/>



パリ2024オリンピック ~ 第33回 オリンピック競技大会(2024/パリ) ~

平井 瑞希選手 水泳/競泳 出場!!



本校水泳部の平井瑞希さん(高校3年)が令和6年8月にパリで開催された夏季オリンピックに日本代表として出場した。

平井さんが水泳を始めたきっかけは父親に市民プールに連れていかれてもらったことであ

り、そこから水泳の楽しさを感じ、小学生の頃には全国JOCジュニアオリンピック水泳競技大会に出場した。高校進学を機により自分にあった競技環境を求めるために本校に入学した。

その目的はオリンピック出場を意識していたわけではなく、将来的な目標に向けて選択肢を増やすように、速く泳

が、出場経験のある選手たちと練習することにより出場の意識が芽生えてきた。この3年間で自身の技量を高めるために効果的なストロークの改善など泳ぎの効率を高めることに取り組んできた。レース後に自分の課題を見つけ、その後の練習で本番につなげる努力を重ねてきた。また高校生活では水泳だけでなく学業にも励み、競技と学業を両立することで時間管理や計画性を養う努力をしていた。また水泳部員などと練習を重ねお互いを高めあっていた。その地道な努力が実り、令和4年は世界ジュニア選手権に出場し100mバタフ

ライと400mメドレーリレーで金メダルを獲得、令和5年は50mバタフライと100mバタフライで銅メダルを獲得した。そして迎えた令和6年のパリオリンピック競泳日本代表選考会の100mバタフライで池江璃花子さんに勝利して優勝し、派遣標準記録を突破してオリンピック代表の内定が決まった。平井さんは電光掲示板を見て結果がわかったとき嬉しい気持ちでいっぱいになり、「池江璃花子選手は、私自身ずっと目標にしてきた選手であり、尊敬する存在です。その池江選手とともにパリ五輪の切符を手にしたときは、嬉

しかったです。自分の努力が報われたことに對する達成感がありました。パリの舞台でしっかりと戦いたいです」と強い意志をもち、目標は「自己ベスト」と「メダル獲得」と語った。

そして本番のパリオリンピックの競泳女子100mバタフライで順調に予選を勝ち抜き決勝で57秒19のタイムで7位に入賞。平井さんは「自己ベスト更新ができたことが嬉しかったことに對しては悔しかったが、自分の成長を実感した部分も大きかったです。また自分の泳ぎの更なる改善をして、4年後またこの舞台で戦いたい、どんな舞台でも自分の力を出し

切り、自己ベスト更新し続けられるようにしたい」と語った。個人だけではなく、団体種目の混合400mメドレーリレーでは第3泳者を務め、決勝に進出し、3分45秒17のタイムで8位入賞、女子400mメドレーリレーでは第3泳者を務め、決勝に進出し、3分45秒17のタイムで8位入賞、3泳者を務め、決勝に進出し、3分56秒17のタイムで5位入賞と活躍をした。今後自己ベスト更新を続け、4年後にはまたオリンピックの舞台でさらに成長した平井さんが見られることを強く期待したい。

● 平井 瑞希 選手 第33回 オリンピック競技大会(2024/パリ) 出場種目

水泳/競泳	日程	種目			
	7月28日	女子100mバタフライ	決 勝	57.19	(7位入賞)
	8月3日	混合4×100mメドレーリレー (第3泳者)	決 勝	3:45.17	(8位入賞)
	8月4日	女子4×100mメドレーリレー (第3泳者)	決 勝	3:56.17	(5位入賞)



ウェイトリフティング部 男子総合3連覇!

令和6年度 全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

◎ 令和6年度全国高等学校総合体育大会 ウェイトリフティング競技大会
開催期間: 2024年8月2日~8月5日
開催場所: 長崎県諫早市小野体育館

◎ 「個人」

若林 玲希 (わかばやし れの)	スナッチ	4位
	クリーンアンドジャーク	3位
55kg級	トータル	4位
松尾 惟礼 (まつお ゆら)	スナッチ	16位
	クリーンアンドジャーク	7位
67kg級	トータル	12位
山崎 棕太 (やまざき りょうた)	スナッチ	4位
	クリーンアンドジャーク	1位 ※大会新記録
73kg級	トータル	1位
根本 隆成 (ねもと りゅうせい)	スナッチ	26位
	クリーンアンドジャーク	9位
73kg級	トータル	14位
都元 栄寿 (みやもと えいじゅ)	スナッチ	3位
	クリーンアンドジャーク	3位
96kg級	トータル	3位
長田 恵達 (おさだ けいたつ)	スナッチ	3位
	クリーンアンドジャーク	2位
89kg級	トータル	2位
鈴木 洸己 (すずき こうき)	スナッチ	11位
	クリーンアンドジャーク	12位
102kg級	トータル	12位
最上 拓斗 (もがみ たくと)	スナッチ	2位
	クリーンアンドジャーク	5位
+102kg級	トータル	5位

◎ 「団体」

ウェイトリフティング部 (日大藤沢)	団体優勝3連覇 得点94点
-----------------------	------------------

ウェイトリフティング部が昨年以上に圧倒的なパワーを見せつけた。ウェイトリフティングの全国高校総体(インターハイ)が令和6年8月2日(金)~5日(月)にかけて、長崎県諫早市小野体育館で開かれた。重量挙げ男子で2位と30点以上の差をつけて総合優勝を飾り、昨年度に続き3連覇を達成した。この快挙はインターハイ史上2校目である。

特に注目すべき所は怪我の影響で昨年はほぼ休養で余儀なくされた73キロ級の山崎棕太君(3年)の活躍である。ジャークで新記録をマークして優勝。山崎君は「先輩から受け継いだものを後輩に回すことができた」と昨年の不調を吹き飛ばす大活躍により部員に勢いがつく。

主将の長田恵達君(3年)が89キロ級で総合2位、都元栄寿君(3年)が



96キロ級で総合3位と続き、他の部員も上位入賞を果たし、総合点数が94点と圧倒的大差をつけた。主将の長田君は「個人の成績よりも団体の優勝を強く意識していた」と語り、他の行動で部の結束を

固めてきた。都元君は「メンタルと体のケアは細心の注意を払って大会に臨んだ」と語り、一人ひとりが意識することにより全体の好結果をもたらしたのは、来年目指すのはどの学校も人未踏の4連覇で

ある。これに向けのバトンをつないだ。長田君は「きつとやってくれる」と信じている。後輩に夢を託す。来年に大きな怪我がなく、インターハイに向かってほしいことを願って、今後の活躍に期待したい。



日大藤沢高等学校
卒業生40,000人達成特集

◎ 卒業生人数

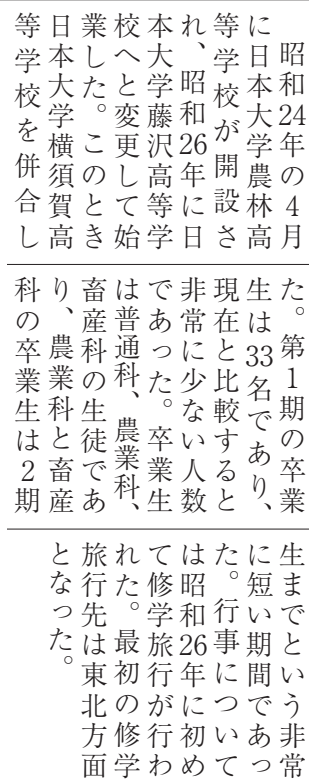
卒業期	卒業年度	卒業生人数(累計)
1	昭和 26	33 (33)
2	昭和 27	51 (84)
3	昭和 28	88 (172)
4	昭和 29	111 (283)
5	昭和 30	187 (470)
6	昭和 31	264 (734)
7	昭和 32	423 (1157)
8	昭和 33	628 (1785)
9	昭和 34	544 (2329)
10	昭和 35	543 (2872)
11	昭和 36	707 (3579)
12	昭和 37	727 (4306)
13	昭和 38	425 (4731)
14	昭和 39	1014 (5745)
15	昭和 40	1328 (7073)
16	昭和 41	825 (7898)
17	昭和 42	835 (8733)
18	昭和 43	448 (9181)
19	昭和 44	552 (9733)
20	昭和 45	488 (10221)
21	昭和 46	336 (10557)
22	昭和 47	546 (11103)
23	昭和 48	719 (11822)
24	昭和 49	785 (12607)
25	昭和 50	980 (13587)
26	昭和 51	646 (14233)
27	昭和 52	706 (14939)
28	昭和 53	569 (15508)
29	昭和 54	683 (16191)
30	昭和 55	500 (16691)
31	昭和 56	567 (17258)
32	昭和 57	626 (17884)
33	昭和 58	677 (18561)
34	昭和 59	537 (19098)
35	昭和 60	748 (19846)
36	昭和 61	523 (20369)
37	昭和 62	610 (20979)
38	昭和 63	744 (21723)
39	平成 1	657 (22380)
40	平成 2	704 (23084)
41	平成 3	550 (23634)
42	平成 4	712 (24346)
43	平成 5	596 (24942)
44	平成 6	577 (25519)
45	平成 7	571 (26090)
46	平成 8	551 (26641)
47	平成 9	598 (27239)
48	平成 10	518 (27757)
49	平成 11	553 (28310)
50	平成 12	609 (28919)
51	平成 13	566 (29485)
52	平成 14	610 (30095)
53	平成 15	531 (30626)
54	平成 16	455 (31081)
55	平成 17	688 (31769)
56	平成 18	702 (32471)
57	平成 19	444 (32915)
58	平成 20	455 (33370)
59	平成 21	473 (33843)
60	平成 22	428 (34271)
61	平成 23	390 (34661)
62	平成 24	371 (35032)
63	平成 25	374 (35406)
64	平成 26	487 (35893)
65	平成 27	539 (36432)
66	平成 28	374 (36806)
67	平成 29	397 (37203)
68	平成 30	461 (37664)
69	令和 1	444 (38108)
70	令和 2	490 (38598)
71	令和 3	435 (39033)
72	令和 4	581 (39614)
73	令和 5	690 (40304)

1万人
到達

2万人
到達

3万人
到達

4万人
到達



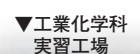
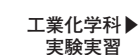
2 10000人に到達..
本校の施設の充実化。電機科、工

昭和46年(1971年)の3月の卒業生で100000人に到達、この時は高度経済成長期、その当時はNHKでのカラーテレビ放送開始、「カップヌードル」を発売、ボーリングのブーム、生活面ではニュータウンの建設が始まった。本校も昭和30年ぐらゐから始ま

グが、昭和45年に本校生徒会が設立され、文化活動、スポーツ活動が活発化し、全国でもその名を轟かせるものとなった。運動部の生徒は非常に屈強であり、1エピソードとして1960年代は学生運動が非常に過激で、本校の文化祭を実施できな

くする動きがあり、前日の夜に文化祭の実施を潰そうとしたところを運動部の生徒がそれを阻止したということがあった。団結力が非常に強かった。しかし、昭和58年の30期の卒業生を送り出したところ

で2つの科は廃止となり、普通科のみで進んでいく。



日大藤沢 卒業生40,000人達成特集

3 20000人に到達…
昭和から平成へと本校もその流れにのり…

昭和62年(1987年)の3月の卒業生で20000人に到達、この時はバブル景気が始まり、日本の経済力が世界に猛威を振るった。国内の出来事では日本国有鉄道(国鉄)が分割され民営化、JRグループの運営が開始、NTTが携帯電話のサービス開始により、ICT関係もこの頃から発達、NECが発売した「PC98」がビジネスでの利用拡大で景気をさらに加速させていく。本校では共学化が実施され、より多様な価値観を持つ生徒たちが集う学校へと進化した。同時に国際教育にも力を入れ、海外留学制度や英語教育を充実させることで、グローバル化に対応した人材育成の推進も行われた。施設等の建設では平成元年に中講堂が設立、平成4年には校舎(1号館と2号館、現在の予備教室棟の横にあった)の冷

暖房施設の完成により、生徒がより良い環境で学習できるものとなった。この時代は毎年卒業する生徒数が500人以上になる年が多く、中には900人以上になる年もあった。平成8年に今の同窓会の名前が校友会から改称した。



▼修学旅行／長崎・平和公園(昭和61年)

▲全景(平成2年)

▲白御影石柱の旧校門(昭和54年)

▼小田急江ノ島線(昭和61年)



▶校内通路路平成元年



4 30000人到達…
本館の設立、中学校の設立などさらなる学校生活の充実化へ



▲本館(平成13年)



▲中学校・校舎(平成21年)



▲六会日大前駅／東口(平成11年)



▲中学校／第1期生 入学式(平成21年)

平成15年(2000年)の3月の卒業生で30000人に到達、時代も2000年代に突入、この年は国際社会問題(イラクへの武力行使、北朝鮮問題、テロ、感染症)が多くあり、日本もその問題にむけて、小泉純一郎首相を中心に取り組んでいた。ICT関連も発展、特にインターネットの世帯普及率が急増、パソコンの需要が一気に高まり、軽量化や小型化を意識したノートパソコンが普及した。本校でのこの時期の一番の出来事は本館の竣工である。平成13年の2月に竣工式があり、生徒は1・2号館から本館に移り学習をした。教室内の設備も充実して

おり、1・2号館では黒板は固定されたものが可動式のものになり、付属のテレビもあり、充実した教室環境であった。学校行事も国際教育を意識し、韓国、中国、カナダへの修学旅行、オーストラリアへの語学研修など海外への行事も豊富になった。キャリア教育についても進路講演会(予備校や

卒業生の講話など)の実施がされた。平成21年の4月には中学校が併設され、中高一貫教育に向けた取り組みも行われていく。学校行事も林間学校、修学旅行、百人一首大会など中学特有のものもあり、部活動なども高校生と交流を深めながら取り組んでいく姿もみられるようになった。

令和6年(2024年)の3月の卒業生(第73期)で先述のとおり、40000人に到達した。特にこの時期はコロナ禍の中でどういった教育を行うことができたか苦闘していた。対面授業ができないう状況で、授業の動画を配信やオンライン授業の実施を行い、生徒が少しくても理解しやすくなるために教職員が試行錯誤しながら授業を行っていた。それに伴うICT教育の整備が行われ、生徒へのタブレットP.Cの配布、黒板にプロジェクターの設置など、担当が整っていた先生方が整備にむけた苦労も多くあった。学校行事も制限され、文化祭、修学旅行、体育祭は勿論のこと、様々なものが制限された。それでも生徒には少しでも学校行事を楽しんでもらおうと教職員、生徒会などが知恵を出し合った。令和5年頃からコロナ禍の制限も緩和され、語学研修や海外への修学旅行など海外への行事も再開した。令和6年は高校2年生の修学旅行が2方面(北海道とカナダ)となり、クラスの異なる生徒と交流をしながら実施された。平成27年の4月から藤沢小学校が併設され、小・中・高の接続が始まり、現在は小学校1年生に所属している。

5 40000人到達…
コロナ禍との戦い、学校教育の多様化に向けて…

令和6年(2024年)の3月の卒業生(第73期)で先述のとおり、40000人に到達した。特にこの時期はコロナ禍の中でどういった教育を行うことができたか苦闘していた。対面授業ができないう状況で、授業の動画を配信やオンライン授業の実施を行い、生徒が少しくても理解しやすくなるために教職員が試行錯誤しながら授業を行っていた。それに伴うICT教育の整備が行われ、生徒へのタブレットP.Cの配布、黒板にプロジェクターの設置など、担当が整っていた先生方が整備にむけた苦労も多くあった。学校行事も制限され、文化祭、修学旅行、体育祭は勿論のこと、様々なものが制限された。それでも生徒には少しでも学校行事を楽しんでもらおうと教職員、生徒会などが知恵を出し合った。令和5年頃からコロナ禍の制限も緩和され、語学研修や海外への修学旅行など海外への行事も再開した。令和6年は高校2年生の修学旅行が2方面(北海道とカナダ)となり、クラスの異なる生徒と交流をしながら実施された。平成27年の4月から藤沢小学校が併設され、小・中・高の接続が始まり、現在は小学校1年生に所属している。

▼日藤祭(令和3年)

▼日藤祭(令和4年)



▼小学校・校舎(平成27年)



▼中学校／入学式(令和2年)

▼探究の授業(令和4年)



▼オンライン授業(令和3年)

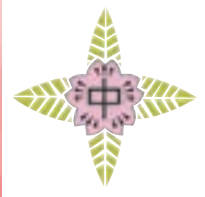


本校の卒業生はスポーツ、文化、芸術、学術、ビジネスなど多方面で活躍。特にサッカー、水泳、硬式野球などスポーツ界では多くの卒業生が目覚ましい成果を上げていく。一方で、芸能界でも多くの卒業生が名を馳せている。テレビドラマや映画で活躍する俳優や、全国的に知られるミュージシャンが含まれており、その影響力は広範囲に及んでいて、作家や文化人としての活動し、多くの著作を出版する卒業生もいます。たとえば、エッセイストとして活躍する卒業生が、学校での経験を元に地域

社会や教育に関する深い洞察を共有している。学術界やビジネス界でも目覚ましい功績を残す卒業生が多数おり、大企業経営者や研究者、活躍する人物が目立ち、地元藤沢市の発展に貢献した実業家や、全国的な企業でリーダーシップを発揮する人物もいる。現在、本校は伝統を守りつつ、時代の変化にに応じた教育改革を進めている。この先本校が社会の変化に応じた教育も必要である「健康・有為・品格」の伝統を意識しより良い学校にすることを期待したい。



日藤祭（文化祭）



模擬店



模擬店



開会式

令和6年6月15日（土）と16日（日）の2日間で日藤祭が行われた。今年度は保護者の方を招待し、卒業生も来場、さらに事前に申し込みをすれば一般の方も来場することができ、一層盛大に行うことができた。

今回のテーマは「翔（spread your wings）」年々躍進しつづける日藤祭を通して、生徒一人ひとりが個性を発揮し、今までの可能性を超えて大きく羽ばたくという意味である。生徒・教員が一丸とな



模擬店



中学企画



生物部



書道部



ダンス演技

マンス、中学棟では演劇部によるステージ、本館内では文化館を中心とした豊富な展示、クラス有志による企画も多くあり、昨年度以上の盛り上がりを見せた。

今年度の文化祭の目玉は模擬店の復活である。ここ数年コロナ禍によって模擬店が全くできない状況が続いたなかで、高校3年生の生徒はより良いものを来場者に提供しようとする気迫が見られた。タビオカ、チュロス、バナナフリッター、駄菓子、アレンジワッフル、シャカシャカポテト、かき氷、プルコギバーガー、フルーツポンチ、焼きそば、ベビーカーステラと文化祭らしいメニューがあった。

どのブースも来場者が長い列を作り、生徒が丁寧に作ったものを楽しそうに舌鼓をたたき、やとコロナ禍前に戻ってきたかと思えるものがあった。

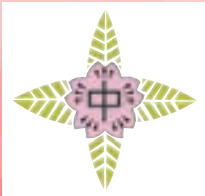
今年度もクラス有志の「フォトスポット」の設置があり、生徒が楽しそうに撮影をしていた。移動販売もあり、かき氷やクレープがとて人気であった。クラスの有志企画も豊富で、動画鑑賞、体験型のゲームコーナーがあり来場者が楽しく行っていた。屋外のクラス有志は縁日があり、これも非常に盛り上がった。部活の

方ではダンス部のチア部門の公演、ヒップホップ部門の公演、書道部の力強い実演、カラテ部の演武など大いに盛り上がりを見せた。

本館のスクリーンで設置された「ストリートピアノ」では、生徒が腕前を披露する場面や、サプライズでミュージカル女優による歌唱があった。この他にも様々なイベントがあり、部活動の生徒や来場者、保護者が見るだけでなく、ふれることができるものが多く、とても充実した2日間であった。今回のテーマである「翔（spread your wings）」を象徴した日藤祭であった。



体育祭



高校／マスゲーム



高校／ジャンボバトンリレー



中学／綱引き



中学／ソーラン節

高校第70回体育祭が、令和6年10月31日（木）、中学16回体育祭が11月1日（金）の2日間で行われた。前日が天候不良であったため、開催が非常に厳しい状況であったが、天候の回復により実施することができた。

今年度も多くの保護者の来場があり、活気のある体育祭になった。

また、ユニークな競技も行われ、生徒も非常に楽しく取り組んでいた。中学と高校で共通で実施された「ジャンボバトンリレー」は大きなバトンを持ち行うもので、このバトンの重量が軽いので、生徒はどのように持つのかも考えながら走ることになる。さらに、風の抵抗を大きく受けるので、一筋縄ではいかない様子だった。このリレーには教員チームの参加があり、校長先生

がリレーのアンカーで走ったことが印象的であった。

毎年恒例で行われている中学1年生の創作ダンスでのリズムカルな動きがかわいらしく、中学2・3年生のソーラン節は曲に合わせてダイナミックな動きで非常に完成度の高いものであった。

高校2年生のマスゲームでは、曲に合わせてピンクと白の旗を利用した息のあった動きやウェーブが披露された。少ない練習時間で本番に臨んだものの、演技を終えたあとの充実感はひとしおであった。

応援合戦も一つの目玉で、赤・黄・青の団長と応援団を中心に考えたオリジナルの応援が行われ、優勝したい意気込みが感じられる応援となった。今年度は応援団のみの参加であったので、今後生徒が一緒に参加できるもの



高校／騎馬戦



高校／色別対抗リレー



中学／大玉送り

「綱引き」は色別チームによる対抗戦で、こちらも非常に白熱した試合が展開された。特に勝者チームvs教員チームの試合は、生徒・教員のマイクパフォーマンスもあり、エキサイティングな戦いが繰り広げられた。これを応援する側も非常に熱が入っていた。「騎馬戦」は3つのチームが三つ巴で戦い、大将の兜が取られてはいけないルールで、各々が

生徒は限られた時間であったが充実したものとされた。これができるのも運営の中心である体育科の教員や生徒会や放送部生徒などが準備の段階から当日まで限られた時間で行ったことを感謝したい。今後より良いものにできるように期待したい。

修学旅行

高校

令和 6 年 10 月 14 日 (月・祝) 20 日 (日) に高校 2 年生の修学旅行を実施した。今年度から行き先を国内 (北海道) から国外 (カナダ) で選択できるようになり、カナダはコロナ禍以降初めての実施となった。今回の修学旅行の特徴は、行き先を個人で選択しているため、クラス単位の行動ではなく、他クラスの生徒や教員と行動を共にすることである。そのために 1 学期から修学旅行出発までの授業で様々な調べ学習を行い、実際の行動班で行い、交流を深めながら準備をした。今回は国内組と国外組にそれぞれレポートしていく。

【国内組】

◆ 1 日目

1 班・2 班は羽田空港から新千歳空港へ移動し、ノーザンホースパークを見学。日本でも有数の牧場であるノーザンファームが経営しており、競走馬 (サラブレッド) など馬に関するコンテンツが豊富であった。

◆ 2 日目
両班ともに昭和 2 年、洞爺湖に向かった。また洞爺湖から遊覧船に乗り、西山山麓火口散策、サイロ展望台など北海道を象徴する大自然を体験した。特に、西山山麓火口散策では、隆起した道や被害を受けた建物を見て、生徒たちは自然の力の大きさを感じたようだった。

◆ 3 日目
両班ともに生徒が事前に選択していたアクティビティの体験 (ラフティング、アドベンチャーパーク、ガラスリッツェン&キャンドル) を行った。ラフティングやアドベンチャーパークは普段なかなか体験できないもので、生徒は非常に盛り上がり、ツツエン&キャンドルの作成は集中して行っており、完成したものをお互いに見せ合い、会話が弾んでいた。

◆ 4 日目
両班ともに小樽と札幌市内の班別自主研修が行われ、班で予め計画をしていた場所へと向かった。北海道グルメ巡りをする班や札幌の名所を見学する班もあった。目的は様々であったが、時間の許す限り班研修を楽しんでいた。

◆ 5 日目
最終日は大倉山ジャンプ競技場や羊ヶ丘展望台を訪れた。生徒たちは、初めて見るジャンプ競技場のスケールの大きさに圧倒されていた。羊ヶ丘展望台では「少年よ大志を抱け」で有名なクラーク博士の銅像とともに集

合写真を撮った。最後まで北海道を楽しみ、新千歳空港より北海道を後にした。

5 日間と限られた時間の中で、北海道の歴史や文化などを期待したい。

【国外組】

◆ 1 日目

一行は成田空港から飛行機でバンクーバー国際空港へと向かった。時差が 16 時間もある中で、この日の夜に出発すれば、カナダ到着は同日の午前となる。そのため、1 日 24 時間以上を過ごすことになる。そのような状況でスコミッシュを観光した。ゴンドラに乗り上り、カナダの雄大な自然を眺望することができた。

◆ 2 日目
この日は学校交流。一行はフェリーでビクトリアへ向かった。バンクーバーと異なる英国色が強い



学年・組別	行先	乗車・乗船	乗船場
1 年 1 組	洞爺湖 (洞爺湖遊覧船) → 洞爺湖温泉 (洞爺湖温泉ホテル) → 洞爺湖温泉 (洞爺湖温泉ホテル) → 洞爺湖温泉 (洞爺湖温泉ホテル) → 洞爺湖温泉 (洞爺湖温泉ホテル)	洞爺湖温泉ホテル	洞爺湖温泉ホテル
1 年 2 組	羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台)	羊ヶ丘展望台	羊ヶ丘展望台
1 年 3 組	羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台)	羊ヶ丘展望台	羊ヶ丘展望台
1 年 4 組	羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台)	羊ヶ丘展望台	羊ヶ丘展望台
1 年 5 組	羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台)	羊ヶ丘展望台	羊ヶ丘展望台
1 年 6 組	羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台)	羊ヶ丘展望台	羊ヶ丘展望台

学年・組別	行先	乗車・乗船	乗船場
1 年 1 組	洞爺湖 (洞爺湖遊覧船) → 洞爺湖温泉 (洞爺湖温泉ホテル) → 洞爺湖温泉 (洞爺湖温泉ホテル) → 洞爺湖温泉 (洞爺湖温泉ホテル) → 洞爺湖温泉 (洞爺湖温泉ホテル)	洞爺湖温泉ホテル	洞爺湖温泉ホテル
1 年 2 組	羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台)	羊ヶ丘展望台	羊ヶ丘展望台
1 年 3 組	羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台)	羊ヶ丘展望台	羊ヶ丘展望台
1 年 4 組	羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台)	羊ヶ丘展望台	羊ヶ丘展望台
1 年 5 組	羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台)	羊ヶ丘展望台	羊ヶ丘展望台
1 年 6 組	羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台) → 羊ヶ丘展望台 (羊ヶ丘展望台)	羊ヶ丘展望台	羊ヶ丘展望台

高校 / 国内修学旅行行程



◆ 2 日目

この日は学校交流

◆ 3 日目

一行はフェリーでビクトリアへ向かった。バンクーバーと異なる英国色が強い



風景が広がっている。BC博物館を見学した後、班別自主行動を行った。現代的な建物や古くからの建物が混在している、その違いを新鮮に感じたのではないだろうか。また、BC州議事堂で集合写真を撮った。

◆4日目
この日はブリティッシュコロンビア大学を訪問。現地学生がキャンパスを案内、学生とのコミュニケーションを楽しんだ。その後、バンクーバーのダウンタウン班別自主行動があり、フードコートなどで昼食を食べたりお土産を買ったりと各班で自由な時間を楽しんだ。班の中ではバン

クーバーオリムピック聖火台を見学するところもあった。

◆5日目
最終日はスタンレー公園を見学した後、バンクーバー国

際空港よりカナダを通じて、日本とは異なる文化やスケールの大きい大自然に触れることのできた非

常に貴重な経験になったことだろう。また、他のクラスの人と関わる機会が多かった。生徒同士の交流もさらに深まり、非常に有意義な旅行となった。



1期 令和6年 10月14日(月)～10月19日(土)		
2期 令和6年 10月15日(火)～10月20日(日)		
乗車ホテル(6連泊)：【バンクーバー】シェラトンバンクーバーウォールセンター		
日次	内容	食事・宿泊
1日目	成田空港 → JAL18 → バンクーバー(空車) → 成田空港 → スコエミッシュ観光(シャノンフォールズ/ゴンドラ乗車) → ホテル	機内：2回 朝：バス内 夕：ホテル
2日目	ホテル → 学校交流プログラム → タインズリザバス公園 → グラシマスアイランド自由散策 → ジャガサイドルレストラン(夕食) → ホテル	朝：ホテル 昼：ランチパッタ 夕：レストラン
3日目	ホテル → アワセサン → フォーリーにてバンクーバー島ビクトリアへ移動 → スワムツベイ港 → BC博物館 → ダウンタウン班別自主行動 → BC州議事堂集合 → スワムツベイ港 → フォーリーにてバンクーバー島へ移動 → アワセサン → ホテル	朝：ホテル 昼：自由食 夕：ホテル
4日目	ホテル → プリマッシュヨロニア大学 → ダウンタウン → 班別自主行動 → ホテル → ビクトリアアキエム・ズレストラン(夕食) → ホテル	朝：ホテル 昼：BC州議事堂 夕：レストラン
5日目	ホテル → スタンレー公園 → バンクーバー空港 → JAL17	朝：ホテル 機内：2回
6日目	成田空港	

高校／国外修学旅行行程



◆1日目
新横浜駅から新幹線に乗り、広島に向かった。到着してから平和記念公園にて平和祈念セレモニーや碑めぐり、平和記念資料館を見学した。実際に被爆された方の話を聴くことにより、生徒は当時の人々の気持ちを考え、改めて戦争の恐ろしさ、悲惨さ、残酷さを実感した。原爆の恐怖を再び認識することで、改めて、二度とこのようなことを起こしてはいけないという気持ちを強く持った。また、生徒全

令和6年10月15日(火)～19日(土)の日程で広島・奈良・京都の1府2県の修学旅行が行われた。

中学

員で折った千羽鶴を奉納した。

◆2日目
生徒一行はフェリーで宮島へ向かった。日本三景の一つでもある厳島神社とその景色に多くの生徒が感動していた。

◆4日目
京都のこの日は班別自主行動が実施さ

れ、事前学習で作成した計画表をもとに散策をした。広い京都で金閣寺や清水寺など有名な見学地を散策する生徒もいれば、もう少し深掘りに体験が充実した1日であった。



日次	内容	食事・宿泊
1日目	成田空港 → JAL17 → 京都(空車) → 成田空港 → 京都 → ホテル	機内：2回 朝：バス内 夕：ホテル
2日目	ホテル → 学校交流プログラム → 清水寺 → 金閣寺 → 班別自主行動 → ホテル	朝：ホテル 昼：自由食 夕：ホテル
3日目	ホテル → 清水寺 → 金閣寺 → 班別自主行動 → ホテル	朝：ホテル 昼：自由食 夕：ホテル
4日目	ホテル → 清水寺 → 金閣寺 → 班別自主行動 → ホテル	朝：ホテル 昼：自由食 夕：ホテル
5日目	ホテル → 清水寺 → 金閣寺 → 班別自主行動 → ホテル	朝：ホテル 昼：自由食 夕：ホテル
6日目	成田空港	

中学修学旅行行程

◆5日目
最終日は三十三間堂の見学、嵐山の竹林や天龍寺の散策、お土産の購入などを楽しんだ後、新幹線で京都を後にした。



